2018 年 11 月 14 日

各 位

スパークス・グループ株式会社
代表取締役社長 グループ CEO 阿部 修平
(東証JASDAQスタンダード：8739)

スパークス・グループ、株式会社 PKSHA Technology と 知能化技術（AI 技術分野）に投資する新ファンド設立で基本合意

スパークス・グループ株式会社（以下、スパークス）と株式会社PKSHA Technology（以下、PKSHA）は、先進的な知能化技術（AI技術）やロボティクスなどの中核技術・その周辺領域に強みを有する日本および海外のスタートアップ企業やプロジェクトに投資を行う新ファンド、“PKSHA SPARX Asia Algorithm Fund 1号（仮）（以下、新ファンド）”を両社が共同して設立し運用にあたることについて、基本合意いたしましたので、お知らせいたします。

両社が共同運用する新ファンドは、知能化技術とロボティクス技術を、様々な産業の進化を中長期的に牽引する中核技術と位置づけ、それらの関連分野を展開する企業、またはプロジェクトを対象に投資を行います。日本のスタートアップ企業やプロジェクトに加え、これらの分野で高い実力を有する中国、インドなど海外の企業やプロジェクトを投資対象とする予定です。投資判断にあたっては、PKSHA のアルゴリズム・知能化技術に関する世界最先端の「目利き力」と、スパークスの投資家・ベンチャーキャピタリストとしての経験を融合し、技術力、事業性、成長力の点から入念な評価を行います。

スパークスは、未来創生ファンドを通じ未公開ベンチャー企業への投資を行っています。未来創生 1 号ファンドはスパークス・グループ株式会社を運営者とし、トヨタ自動車株式会社、株式会社三井住友銀行を加えた 3 社による総額約 135 億円の出資により、2015 年 11 月より運用を開始しました。2018 年 10 月末時点では、上記 3 社を加えた計 20 社からの出資を受けています。「知能化技術」「ロボティクス」「水素社会実現に資する技術」を中核技術と位置づけ、それらの分野の革新技術を持つ企業、またはプロジェクトを対象に投資を行っていて、PKSHA は、未来創生 1 号ファンドの投資先の 1 つです。2018 年 10 月末時点で日本、米国、英国、イスラエル、シンガポールの約 50 社に投資しています。
2018 年 7 月 31 日には、既存投資領域 3 分野に加え、新たに「電動化」、「新素材」を投資対象とした未来創生 2 号ファンドを設定し、未公開ベンチャー企業への投資を強化しています。10 月末時点の運用資産残高は、1 号と 2 号あわせて、530 億円となっています。

スパークスと PKSHA は 2018 年 12 月を目途に新ファンドを立ち上げ、その後、新ファンドの趣旨にご賛同いただける投資家の方々から追加出資を募り、最終的に総額 100 億円の運用規模を目指します。

■ 本件に関するお問い合わせ先
スパークス・グループ株式会社 広報室
TEL：03-6711-9100 Email: pr_media@sparxgroup.com